

愛媛大学医学部附属病院

愛媛県立松山西中等教育学校 三好 虹輝

I. 企業紹介、選んだ理由

愛媛大学医学部附属病院は1976年5月10日に開設され、多くの専門の科があり、愛媛県災害拠点病院などにも認定されています。選んだ理由としては、将来の夢である医療職を見て、具体的な仕事内容を知りたかったからです。

II. 体験日程、内容

10月23日から10月27日までの5日間

- ・ 病院内の専門科を回らせていただく。
- ・ 専門科の方々のお話を聞き、具体的な仕事内容を見せていただく。

III. 体験を通して学んだこと

いろいろな専門科で体験させていただきました。それぞれの科を通して共通して学んだことは二つあります。一つ目は「人の命を預かる責任」についてです。すべての専門科が直接患者さんと関われるわけではありません。しかし、自分たちの一つのミスで人が命を落とすかもしれない、そんなことを常に考えながら仕事をしていることがわかりました。

二つ目は「どんなときでも冷静かつ迅速に判断すること」についてです。一つ目でも書いたように医療職は一つのミスで患者さんの命を奪うかもしれない状況が多く、ミスが許されない職種です。そんな状況下で大切なことは、一つ一つの判断を冷静に素早く行うことだと思います。実際、職場体験学習中にも救急の患者さんが来られました。実際に職場に行ってみると、よりその緊張感がわかりました。

IV. 感想

当たり前のように利用している病院で、だれがどんなことをしているのか、一つ一つの専門科の具体的な仕事内容など、医療職についてより知ることができました。医療職は多くの患者さんと接し、命を預かることが多くあります。その状況下で今回私たちを受け入れてくださり、本当にありがとうございました。職場体験学習で愛媛大学医学部附属病院に行けると聞いたときは、本当にうれしかったです。様々な専門科で、お忙しい中、普段はあまり見ることのできないような器具なども見せていただいたり、実際、患者さんの対応をさせていただいたりするなど、貴重な体験をさせていただきました。将来、夢である医療職に就けるよう、今回の貴重な職場体験学習での学びを普段の生活に生かしていきたいと思います。